

令和5年度第1回伊勢原市立子ども科学館運営協議会会議録

【事務局】 教育部図書館・子ども科学館

【開催日時】 令和5年8月3日（木） 午後1時～2時30分

【開催場所】 伊勢原市立子ども科学館 第3会議室

【出席者】

（委員） 須永尚世委員 佐藤幸也委員 岩崎祥行委員 藤木隆委員 榎並幸与委員
藤尾克彦委員 長田利彦委員

（欠席） 無し

（事務局） 教育部：山口教育長 大山部長

図書館・子ども科学館：林館長 秋山係長 山内主査

【公開可否】 公開可

【傍聴者数】 0人

《審議の経過》

1 委嘱式等

（1）委嘱状交付

（2）自己紹介

（3）教育長あいさつ

（4）事務局職員の紹介

（5）正副会長選出

2 運営協議会

（1）議題

①令和4年度子ども科学館事業報告について

②令和5年度子ども科学館の事業について

③その他

3 会議要旨

（1）議題

会 長 それでは、議題（1）の「令和4年度子ども科学館事業報告について」、事務局から説明をお願いします。

事務局 令和4年度子ども科学館事業報告について説明

会 長 ただいま、事務局から説明のあった「令和4年度子ども科学館事業報告について」、御意見、御質問等あればお願いします。

委 員 (質疑なし)

会 長 それでは続きまして、議題(2)の「令和5年度子ども科学館の事業について」、事務局から説明をお願いします。

事務局 令和5年度子ども科学館の事業について説明

会 長 ただいま、事務局から説明のあった「令和5年度子ども科学館の事業について」、御意見、御質問等あればお願いします。

委 員 資料の中に工作実験関係があります。12項目あります。サイエンスクラブについては、この中に含まれるということでしょうか。

事務局 サイエンスクラブにつきましては、教育普及事業といった面もありますので、工作実験関係の事業計画の中に具体名として掲載していません。今後の資料を作成する際には項目として明記いたします。

委 員 子ども科学館には幼稚園の園児が非常にお世話になっております。出張で幼稚園にシャボン玉ショーに来ていただいたり、プラネタリウムを見せていただいたり、展示室利用をさせていただいたり、子どもたちの成長にも有意義な経験をさせていただいています。

子ども科学館は、築年数がかなり経過しており、計画的に修繕を進めていくとのことですが、展示室についても新しい展示物の導入には費用もかかります。市立図書館で民間の企業がカフェなどを併設しているところもありますが、施設として収益があるのか、契約内容も具体的にどのようなになっているかわかりませんが、スペースの有効活用について検討されているかについてお聞きしたいと思います。

また、小・中学校の先生を子ども科学館で受入れしていると思いますが、何人ぐらいの先生が従事されたのかお聞きします。

事務局 まず、教員の受入状況ですが、現在1名在籍しており期間は2年から3年で、移動教室の実施や幼稚園、保育園との調整などを担当しております。

科学館のスペースの有効活用についてですが、現在、民間企業に貸し出すといった検討は行っておりません。

展示物についてですが、費用の関係もあることから既存の展示物は修繕したり、職員が展示物を手作りするといったことも行っております。

また、展示物が更新できない分、人によるサービス、具体的にはキラキラスティック作りやわんぱく工作教室などを行っております。

会 長 その他いかがでしょうか。

委員 先ほどの事業実績と事業計画の話をもつて、いろいろと実施されているという感じました。基本的な質問ですが、子ども科学館の対象年齢についてお聞きしたいと思います。今の説明の中では幼稚園、小・中学校とのことですが、例えば高校生とか大学生などはどうなのかということです。それと、今年度の事業計画の中に工作実験関係があり、わんぱく工作教室、木工教室、粘土の工作教室などがありますが、それぞれの工作教室のちがいはあるのでしょうか。

事務局 まず、対象年齢ですが、当館の最初のコンセプトとしては、小・中学生を対象にしており、展示物も小学校の中学年から中学生向けの展示内容になっております。

ただ、現状としては、幼稚園保育園くらいか、それよりも小さいお子さんが保護者と一緒に来館されることも多く、小学生は低学年から中学年の利用がほとんどという状況です。

各工作教室のちがいについてですが、参加者の年齢は様々ですが、小学校の中学年くらいになるとそれなりのものを求めてくるようになります。その中でやさしい木工教室は電動糸のこぎりを使用しての作業となります。実際に参加された方はリピーターも多く、初回に機械の使用法などを理解してもらい、少しずつステップアップしていくようになっております。また、わんぱく工作教室やキラキラスティック作りは4歳くらいから楽しめる内容になっております。

会長 その他いかがでしょうか。

委員 人材関係のことについてです。子ども科学館の支援会員ですが、現在の人数やどのような専門分野を持った方がいらっしゃるのか。また、支援会員は今後増えていくのか、活動内容はどのようになるのかについて、計画などがありましたら教えていただければと思います。

事務局 支援会員の皆様には多岐にわたり、さまざまな場面でご協力いただき感謝しております。

図書館でも読書啓発ボランティアが活動しており、活動報告書をホームページで公開しておりますが、子ども科学館の支援員については、活動報告書を作成しておりません。検討した上で何らかの形でご報告するようになりたいと考えております。

会長 その他いかがでしょうか。それでは、議題（3）の「その他について」、事務局から説明をお願いします。

事務局 その他について説明

会 長 今後のあり方についての説明でしたが、ご意見等ございますでしょうか。

委 員 小学校では、遠足や校外学習などで年に何回か市外の施設を見学しますが、見学先を決める上で考えるのは、お弁当を食べる際に晴れていれば外でも可能ですが、雨の場合にはどこで食べるかが問題になります。市外の学校が校外学習などで伊勢原に来る場合もお弁当を食べる場所が問題になりますが、晴れていれば大山に行き、雨の場合は子ども科学館を見学してお弁当が食べられる。これは、非常に魅力的な部分だと思います。ただ子ども科学館に来る場合に観光バスをどうするかということがあると思います。市全体で考えたときに大山観光と子ども科学館、商工観光課などが協力して伊勢原の観光戦略を兼ねた計画のようなものがないのであれば、子ども科学館の施設としての魅力があるので、有効活用について検討してはどうかと思っています。

会 長 その他いかがでしょうか。

委 員 子ども科学館のホームページですが、以前はカレンダーの中にイベント情報が掲載されていましたが、現在は、個別のイベントの部分に情報が掲載されているだけになっており、ホームページを活用できていないのではないかと思います。知りたい情報を探すのも大変です。現在、子ども科学館の職員の方が少ないというのは承知しておりますが、やはり外から見たときに、使いにくい状態になっているのがわかりますので、大変だとは思いますが改善していただければと思います。

会 長 その他いかがでしょうか。

委 員 利用状況に関してですが、コロナ前と比べてどの程度戻ってきているのでしょうか。

事務局 令和4年度と平成30年度を比較しますとまだ少ない状況であります。

委 員 子どもの人数が減っている状況を見ると、元に戻るかについては難しいと思います。それを踏まえると、対象年齢をもう少し上までとしたり、定年退職された方を対象とした生涯学習といったこともターゲットとして検討してもいいのではと思います。

定年退職された方には、先程お話のあった支援員としての活動も考えられるのではないのでしょうか。

また、科学に興味を持った子どもたちに対してきっかけ作りやそこから発展させたりといったことができたらいいいと思います。

事務局 科学へのきっかけ作りや発展には、伊勢原サイエンスクラブの活動が貢献していると思います。高度な内容の活動を行っているので、参加する子どもたちは、科学の力がとても伸びるのではないかと思います。

会長 その他いかがでしょうか。

委員 新たな提案というお話がありましたので、お聞きします。人材関係の支援を実施されているということですが、これから教員を目指す学生をボランティアといった形で子どもたちと一緒にいろいろなものを学んでいくといったことができたらいいと思います。

委員 サイエンスクラブについてですが、以前は1年間を通してパソコン、工作・実験、天文の3つの分野から1つを選んで活動していましたが、あるときから1年間を通して全ての分野を学習する活動になったようです。その活動では内容が薄くなることはないのでしょうか。また、今年度はどういった活動になっているのでしょうか。

事務局 以前はパソコン、工作・実験、天文の3つの分野に分かれて活動していました。パソコン室はすでに廃止しており、パソコンの活動はできない状況ですが、工作・実験、天文の2つの内容を1年間学習する形をとっております。
グループを一つにまとめた経緯としては、職員数の問題がございます。現在、子ども科学館は、市立図書館兼任の館長を含めてフルタイムの職員が4名であり、分野ごとに指導する体制をとることができない状況です。

委員 では、中学校の立場からお話をさせていただきます。先日も支援級の生徒のために出前授業で来ていただいて、スライム作りをしていただきました。支援級の生徒は実験をする機会があまりないもので、メスシリンダーで液体を測って、自分たちが測ったものがスライムになり、触ってとても気持ちいいという素敵な体験ができました。支援級の教員が何とか理科の実験ができないか、というところから子ども科学館に相談すれば何とかなるのではないかと考えました。子ども科学館は理科教育の拠点になっているので、本当に頼りにしているところです。

また、理科の教員が実験などで何か困ったときにその方に相談すれば、それに応えてもらえるので、頼りになっております。ですので、理科教育の拠点としてどういうあり方がいいのかと思っております。

会長 その他いかがでしょうか。

委員 最近、どこの自治体も人が足りないとか、もしくは予算が足りないとかという話を聞きます。将来の子供たちのために、予算をつける、人を確保するとい

った未来の子供たちに必要なことを、政治的な面から考える必要があるのではないかと思います。

会 長 その他いかがでしょうか。

委 員 今後の運営について、人材関係の話もありました。改善するためにどういったことが必要かいろいろ提案させていただきましたけど、民間企業をスペースに入れて、その収益活用するなど、いろいろ考え方はあるかと思います。これまでの実績で利用する側としてはありがたい施設だと思います。公共施設の再配置プランの中で令和5・6年度であり方を検討して7年度から実施ということですが、具体的にどのような改善策を考えているのかについてお聞きします。

事 務 局 非常に難しい問題で、はっきり申し上げられない部分もありますが、市全体で小・中学校を含めていろいろな公共施設があり、メンテナンスにとっても費用がかかり、それをどうしていくかについて、全体で考えているところです。

再配置プランで令和5・6年度の2か年かけて検討することになっていますが、子ども科学館をどうするのかということについては、具体的な話は現在のところございません。

子ども科学館は、理科教育の拠点として子どもちだけではなく先生方にとっても重要な役割を果たしてきた施設ですが、施設の維持管理に多額の費用が必要で、今後入館者数が増えても、その費用で全体を運営できるかということとても難しい。ただ施設は、建物の用途上は博物館であり、これをほかの用途で使用するのを考えた場合、内部を改装しないと建築基準法上難しいという制約もあり、博物館という用途の中でどういった活用方法があるのかを考えていく必要があります。

教育委員会としては重要な施設ではありますが、市全体として考えての中でどうあるべきかを検討してまいります。

委 員 検討するあたり、近隣の同様の施設がどのように考えているのか。近隣の事例の調査などは行っているのでしょうか。

事 務 局 手元に詳細の資料がございませんが、近隣では藤沢市、横浜市、厚木市に子ども科学館があります。厚木市は伊勢原市と同様に直営ではありますが入館無料です。藤沢市と横浜市は指定管理が導入されておりますが、人口や財政規模が異なりますので単純比較は難しいと思います。

全国では65くらいの子ども科学館の類似施設について人口や財政規模で分類して調査しております。

県営のところや伊勢原市よりも人口規模が小さく3・4万人の市で子ども科学館を持っているところなどさまざま、指定管理、直営についても人口規模等による傾向がある訳でもなく、それぞれの運営方針によるところが大きい

ではないかと思えます。ご意見をいただけるということであれば、今後の協議会で資料は提示できるかと思えます。

委員 情報がいろいろあると検討も幅が広がると思えます。運営については、協議会のメンバーだけで考えるのは難しい面もあると思えます。いろいろな施設にいた方や民間の力を入れるなどを検討していただけたらと思えます。

事務局 委員がイメージされているのは指定管理ではないかと思えます。本市でも指定管理は導入しておりまして、総合運動公園がそうです。

指定管理にするということは、民間が受けてそれなりの利潤を得られなければ参入してこないということになります。民間の発想で今まで違う運用をしてもらうということを試す価値はあると思えます。

委員 まずは市の中で、この施設をどのように活用するかについて、ある程度の方角性を出した上で、それに向かって民間の考え方みたいなものを提供していただいて、整備していくというのはどうなのでしょう。

事務局 それは可能だと思えます。今、伊勢原市で考えているのは、行政の中でどういった方法が使えるのかを考えた上で、具体的にそれを実現するにあたって、民間のノウハウを活用したり参考にさせていただく方法を検討したいと考えております。

会長 その他いかがでしょうか。では、以上予定されていた議事は終わりました。皆さんご協力ありがとうございました。では以降の進行につきましては、事務局にお返しいたします。

事務局 本日の議題は以上となります。各委員からのご意見ありがとうございました。では、副会長から閉会のご挨拶をお願いいたします。

副会長 本日は、お暑い中、お忙しい中、お集まりいただきありがとうございました。とても有意義な時間であったと思えます。子ども科学館がいい方向に進むようにご協力をお願いいたします。

事務局 これをもちまして、令和5年度第1回子ども科学館運営協議会を終了いたします。ありがとうございました。